

小学校給食費無償化

2025年
4月から

日本共産党水戸市議団が長年求めてきた小中学校の給食費完全無償化が2025年度（令和7年度）から実現することになりました。

中学生は昨年度（令和5年度）から無償化され、小学生は今年度（令和6年度）から半額が実現。その後も日本共産党市議団は「小学生も完全無償化を」と求めてきました。



市民アンケートの声にこたえ 予算要望170項目提出



田中まさき議員が
市長・教育長に代表質問

田中議員は、民間保育園や市立保育所を訪れ、現場の声を十二月議会の代表質問で紹介。物価高騰や食料費値上がりで献立づくりに苦労したり給食費値上げを検討中の園もありです。

令和3～4年度は物価高騰

物価高騰・食料費値上げ 保育所に財政支援を

高橋市長が「来年度から小学生の給食費を完全無償化する」と表明しました。

そうした中、十二月議会で

中庭議員は一般質問で、小学生の無償化実現を求めるとともに、給食への地場農産物の一層の活用やオーガニック給食の実施など内容の充実を求めました。



への公的補助がありました。今年度は補助がありません。田中議員は「保育園の給食費値上げにならないよう市が財政支援を」と主張しました。

市立保育所の存続拡充を

また、保育士確保策の支援拡充や待遇改善とともに、市が民営化や統廃合を検討して

はり・きゅうマッサージ 助成回数、対象者の拡大を求める



中庭由美子議員

を」と質問。志田教育長は

「保護者のニーズや地域バランスを考慮した上で設置校を選定し新設に向けて検討している。県に教員の加配や通級指導教室の新設を要望する」と答弁しました。

LD通級学級の増設を

読み書き障害の児童生徒支援に

水戸市では、読み書きに困難があるLD（学習障害）の子の保護者でつくる親の会が、市長と教育長あてに支援拡充を求める要望書を提出しました。

「みと文化交流プラザ」を廃止！ 市民活動の拠点存続を



土田きよみ議員

土田議員は一般質問で、男女平等参画センターが入る五軒町の「みと文化交流プラザ」の廃止撤回と施設存続を要求しました。市は令和7年4月から利用を停止し、その後、解体する方針です。

市民が利用してきた文化施設で、なくてはならない施設。利用者の声も聞かず議会での議論もなく一方的な廃止は許されない。長寿命改修や同規模・同機能での改築をすべき」と主張しました。また、「各室とも音漏れがなく、演劇や合唱・吹奏楽団などの練習にも使われていたが、利用者はどこへいけばいいのか」と追及。市は「他の市民センターの利用を案内する」と答弁し



みと文化交流プラザ
（水戸市五軒町）

十二月議会には水戸女性会から、男女平等参画社会の実現に向けた安心・充実した活動ができるための環境整備を求める陳情が提出されました。一方、市長が議会に提案した「男女平等参画センター条例を廃止する条例」は、日本共産党水戸市議団は反対しましたが、他の議員の賛成で可決されました。

日本共産党水戸市議団



田中まさき
議員



土田きよみ
議員



中庭由美子
議員

市営住宅の入居緩和を 若い人も入居可能にすべき



中庭由美子議員

だ。初期費用を抑え若い人も入居できれば市営住宅の活性化にもつながる」と主張し、市が風呂釜を設置する事を求めまし

中庭議員は市営住宅の入居時の年齢要件緩和を求めました。

現在は一人暮らしの場合は原則60歳以上でなければ入居できません。また、入居時に約30万円もする風呂釜を入居者が取り付ける必要があります。

中庭議員は「県営住宅や他市町村は18歳以上から入居可能

防潮堤施工不良、雨水侵入、火災… 東海第2原発は廃炉に



田中まさき議員

田中議員は十一月十三日、江尻かな県議らと共に東海第2原発を現地視察しました。

日本共産党への内部告発で明らかになった防潮堤の施工不良は、一年以上経った今も工事がストップしたままです。

田中議員は代表質問でパネルを示し「施工不良部を除くと津

た。都市計画部長は「検討する」と答弁しました。

赤塚駅駐輪場 施設の改善を

中庭議員は赤塚駅駐輪場利用者からの改善要望を質問しました。赤塚駅南口の駐輪場はひさ

しが短く利用者が雨に濡れてしまっています。また自転車をとめるラックの故障が多く、あるエリアでは100台中22台が使用不能です。

中庭議員は「多くの市民、高校生が利用している施設であり速やかな改修を」と求めました。

波に耐える力は4分の1に減る。原発が示す地盤改良は不可能」と主張。さらに「非常用発電機室への雨水侵入や火災が相次いでいる。管理能力のない原発に危険な原発を動かす資格はない。市長が速やかな再稼働反対表明を」と求めました。

市長は「市民目線に立ち厳しくチェックしていく」と答弁しました。

五中線、常磐道の側道が危険 通学路の安全対策を



土田きよみ議員

また、五中線と双葉台に向かう市道の交差点は通学路ですが、横断歩道が1辺だけで歩行者や自転車の横断が危険です。

土田議員は「通学路であり4辺すべてに横断歩道が必要。高齢者も歩く生活道路であり万全の対策を」と質問。

土田議員は一般質問で通学路や生活道路の安全対策を要求。市道112号線（上国井から那珂市に抜ける常磐道の側道）は信号がなく車がとばすため横断時に事故も発生しています。

市民会館への莫大な税金支出 東京高裁で第6回公判

市民会館への不当な税金支出を問う住民訴訟は東京高裁で継続中です。

1回で結審することが多い控訴審ですが、すでに5回の審理が行われ、2月には6回目の公判が予定されています。

裁判では市のずさんな計画決定過程や異常な税金投入が明らかとなっています。

土田議員は一般質問で「お金がないから『みと文化交

水戸市がゴミ袋値上げ方針 今でも県内一高いのに！

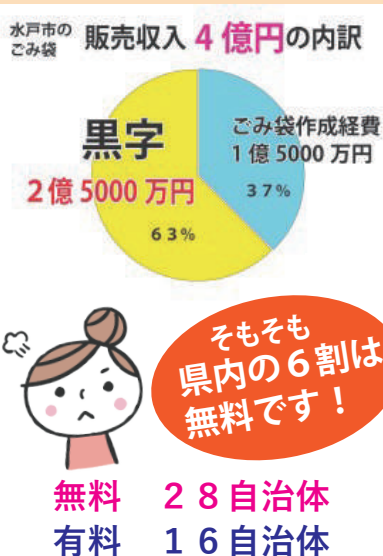
水戸市はゴミ袋などの料金値上げを検討しており、十一月八日の審議会に値上げ案を示しました。（表）

		現行	改定案
燃えるごみ	10リットル	100円	100円
	燃えないごみ	150円	200円
集積所収集 ごみ袋10枚の場合	45リットル	300円	450円
	燃えるごみに30リットルを新設	—	300円
粗大ごみ	3辺合計3m未満	500円	1000円
	3辺合計3m以上	1000円	2000円
直接搬入ごみ	10kg当たり	130円	170円

改定案では燃えるごみ・燃えないごみ袋（10枚）で20リットルが200円に、5リットル300円が450円に、粗大ごみ500円が1000円など大幅アップで、今でも県内最高額なのに更に高くなってしまう。

値上げ方針の撤回を

市長は十二月議会で「相応の周知期間を設けて実施していく」と答弁し、時期は不明ですが値上げする姿勢です。日本共産党市議団は暮らしに密着したごみ袋料金の値上げに反対し中止を求めます。



今でも高い水戸市がさらに！

ごみ袋45リットル1枚	水戸市 30円 → 45円
	城里町 25円
	ひたちなか市 20円
	茨城県 20円
	笠間市 20円
	那珂市 15円

令和5年調べ（水戸市資料より）

共産党が提案、修正案を全会一致で可決 再審法の早期改正求める意見書

水戸市議会は、再審法を改正し、えん罪被害者の救済を求める意見書を全会一致で可決しました。日本共産党水戸市議団が提案し修正を経て採択され、国に送付されます。一方、日本共産党市議団が提案した「企業団体献金の全面禁止を求める意見書」は共産党以外が反対し否決されました。

無料法律相談

どんな問題でもお気軽にご相談ください。

1月18日・2月15日・3月15日
各土曜日・午後1時から
主催：日本共産党水戸市議団
場所：水戸市白梅3-13-8
共同ビル1階 ☎029(221)7441